

科目名 Course Name	保育原理 The Principles of Nursery Education			ナンバリング No.	K1-001		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	栗原 多恵						
連絡方法	講義棟3階研究室か、メール、C-Learning で対応する。						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修・幼稚園教諭二種教職課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	保育の意義と理念、保育の思想と歴史、保育施設の制度と機能、保育の内容と方法、それらを基に保育者にとって必要な保育に対する基本的な考え方・見方を学習し、多様な保育ニーズに応えることのできる保育を探る。						
授業の方法	講義を中心とする。テキスト、配布資料を各自が確認しながら授業を進める。実際の保育の写真や映像から、原理を説明する。						
学習成果	L01						
	L02	保育者としての心構えを確立し、保育倫理を基に保育に携わることができる。保育の歴史的変遷を軸に、現代が抱える保育事情に向き合う保育と保護者支援ができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	毎時間取り組む課題の確認と感想を提出し、習熟度を見定めて助言を行う。						
教科書/参考図書	新・基本保育シリーズ①保育原理(天野珠路他:中央法規)/保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
履修上の留意点やルール等	保育への関心を示し、保育に関する最新の情報には敏感であることが望ましい。各講を講義の前に読んでおく。事前事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務経験	●栗原多恵 実務経験(職種:幼稚園教諭 職歴:通算9年) 実践現場での多様な経験を、体験談を含めながら解説したい						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	疑問を持ち、講義を受ける。		30		
レポート/作品	各講の中での自己の学びを適切に押さえたレポートを提出する。		10		
発表					
小テスト					
試験	乳幼児保育の基本を理解し、述べることができる。今の保育所保育指針の構造と内容を述べるができる		60		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法)、保育の理念と概念
	事前・事後学習	事前事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	保育の社会的役割と責任
	事前・事後学習	教科書第2講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
3	授業内容	子ども・子育て支援新制度と保育にかかわる関係法令
	事前・事後学習	教科書第3講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
4	授業内容	保育の実施体系
	事前・事後学習	教科書第4講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
5	授業内容	保育所保育指針に基づく保育、保育所保育指針をまとめる
	事前・事後学習	教科書第5・6講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
6	授業内容	保育の目標と方法
	事前・事後学習	教科書第7・8講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
7	授業内容	保育の理解・保育計画考案
	事前・事後学習	実践に向けて計画を立て、教材研究
8	授業内容	保育計画実践に向けて教材研究
	事前・事後学習	教材研究の継続・使用教材の準備
9	授業内容	保育実践からの学び①
	事前・事後学習	保育計画の振り返りと改善点の明確化
10	授業内容	保育実践からの学び②
	事前・事後学習	保育計画の振り返りと改善点の明確化
11	授業内容	保育計画実践からの再計画考案
	事前・事後学習	改善点の確認・教科書第9.10講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
12	授業内容	教育課程・保育計画の理解
	事前・事後学習	教科書第11・12講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
13	授業内容	日本と諸外国の保育の思想と歴史
	事前・事後学習	教科書第13講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
14	授業内容	日本と諸外国の保育の思想と歴史
	事前・事後学習	教科書第14講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認
15	授業内容	日本と諸外国の保育の現状と課題
	事前・事後学習	教科書第15講を読む・疑問点を明確化し、資料の再確認